

普及現地情報



発信年月日：令和4年（2022年）8月8日

所属名：甲賀農産普及課

番号：C22013

部門分類：150（野菜）

発信者名：中村、野村

イチゴ共同販売意見交換会を開催

令和5年のイチゴ共同販売の本格化に向けて、令和4年3月から6月にかけて初めて実施したイチゴ共同販売の結果や改善点の共有と共同販売の規模拡大のための意見交換会を開催しました。

甲賀管内では、高設栽培のイチゴが現在、13戸1.7haで栽培されていますが、新規参入や規模拡大により、令和5年度には2haまで拡大される見込みです。主な販売先は、庭先や直売所ですが、直売所でのイチゴの販売額は年々増加しており、中でもJA直売所における令和3年度のイチゴ販売額は、令和元年度と比較すると50%増加しており、売れ残りも発生しています。

このような中、当課と関係機関が連携して、共同販売を提案したところ新規就農者を中心とした3戸のイチゴ生産者が賛同し、令和4年3月から6月にかけて延べ5,300パックの共同販売が実現しました。

意見交換会では、当課とJAより地域のイチゴ販売の情勢や共同販売の結果、販売店の評価を説明したのち、参加農家それぞれの感想や意見を共有しました。共同販売の本格化に向けた様々な課題や手ごたえを共有できたことで、参加農家の意欲の向上につながりました。

当課では、イチゴ生産者の経営安定と新品種「みおしずく」の生産拡大につながるイチゴ共販体制の定着を目指して、既存生産者に対して共同販売への参加を働きかけるとともに、新規生産者の安定実現のためのフォローアップを継続します。

